

日比野光鳳  
尾崎邑鵬  
井茂圭洞  
黒田賢一  
池田桂鳳  
杭迫柏樹  
吉川蕉仙  
真神巍堂

# 第77回 日本書芸院展

伝統と創意

文化功労者・  
日本藝術院会員をはじめ、  
日本を代表する書作家の  
新作が一堂に

土橋靖子  
高木厚人  
山本悠雲  
中村伸夫  
吉川美恵子  
約600名(予定)

## ギャラリートークおよび 列品解説会

入場無料／事前申込不要

| 日程          | 幹部役員による<br>ギャラリートーク<br>11:00～11:40     | 魁星作家による<br>列品解説会<br>13:00～14:00         |
|-------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 4/27<br>木   | 北山 転石 (漢字)<br>深瀬 裕之 (かな)               | 石瀨 江美 (かな)<br>上原 寒海 (漢字)                |
| 4/28<br>金   | 寺坂 昌三 (かな)<br>松村 博峰 (漢字)               | 稲垣 華扇 (篆刻)<br>桃 真理子 (かな)                |
| 4/29<br>土・祝 | 中室 舟水 (かな)<br>西村 大輔 (漢字)<br>真鍋 井蛙 (篆刻) | 阿部 泰秀 (かな)<br>伊藤 江星 (漢字)<br>得丸 鵬仙 (漢字)  |
| 4/30<br>日   | 澤田 虚遊 (漢字)<br>藤川 翠香 (かな)               | 尾川 明穂 (漢字)<br>三宅 厚史郎 (漢字)<br>山本 一芯 (かな) |

※解説者は変更する場合があります。(資格・50音順)

## 記念講演会

入場無料／事前申込必要

### 青柳 正規 先生「書の力」

元文化庁長官、文化功労者、東京大学名誉教授、  
檀原考古学研究所所長

日時／4月26日(水) 午前11時～午後0時30分

会場／大阪国際会議場 10階 会議室1001～1003

参加希望者の郵便番号・住所・氏名・電話番号・同伴者の有無(同伴者は1名まで可)をご記入のうえハガキ・FAX・メールでお申込ください。

#### ■ハガキ

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7階  
公益社団法人日本書芸院「記念講演会」係

#### ■FAX

06-6945-4505(「記念講演会」と明記してください)

#### ■メール

info@nihonshogein.or.jp  
(件名を「記念講演会・一般申込」としてください)

#### ■締切

4月17日(月)消印有効(先着1,000名 満席になり次第締切)

※結果は郵送でお知らせします。

#### 学生 特典

高・大生(短大・専門学校含む)には学生証等の提示で作品集1冊と好きな絵はがき10枚を進呈します。(先着1,000名、会期中お1人様1回限り)

会場で作品集・作品絵はがきやDVD・図書を会員価格で販売します。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により実施内容を変更する場合があります。当院ホームページでご案内いたしますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

【主催】公益社団法人日本書芸院、読売新聞社

【後援】大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、  
大阪市教育委員会、NHK大阪放送局、  
公益財団法人関西・大阪21世紀協会

公益社団法人  
日本書芸院

TEL(06)6945-4501

<https://www.nihonshogein.or.jp/>



私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。

令和5年  
4月26日(水) — 4月30日(日)  
午前10時～午後5時  
大阪国際会議場 3階 特設会場  
大阪市北区中之島5-3-51 / TEL(06)4803-5555  
※入場は午後4時30分まで  
無料入場

— 伝統と創意 —  
第77回 日本書芸院展

【記念講演会】

講師

青柳 正規 先生

元文化庁長官、文化功労者、東京大学名誉教授、檀原考古学研究所所長

# 「書」の「力」

令和5年 4月26日《水》

午前11時〜午後0時30分

大阪国際会議場

10階 会議室 1001〜1003

入場 無料

## 青柳 正規先生 略歴

一九四四年(昭和一九年)二月二日生 七七歳

一九六七年(昭和四二年) 東京大学文学部卒

一九六九年(昭和四四年) 同大学院修士課程修了

一九七二年(昭和四七年) 同大学院博士課程退学、  
同大学文学部助手

一九九一年(平成三年) 同大学教授、同大学文学部長、副学長を経て、  
二〇〇五年(平成一七年)に退職

二〇〇五年(平成一七年) 国立西洋美術館長

二〇〇八年(平成二〇年) 独立行政法人国立美術館理事長

二〇一三年(平成二五年)〜二〇一六年(平成二八年)文化庁長官

### 【現在の主な職】

奈良県文化政策顧問／多摩美術大学理事長／山梨県立美術館長／  
石川県立美術館長／東京大学名誉教授／日本学士院会員

お申込はハガキ・FAX・メールで ※先着1,000名

参加希望者の郵便番号・住所・氏名・電話番号・同伴者の有無(同伴者は1名まで可)をご記入のうえお申込ください。

**ハガキ** 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7階  
公益社団法人日本書芸院「記念講演会」係

**FAX** 06-6945-4505(「記念講演会」と明記してください)

**メール** info@nihonshogeiin.or.jp  
(件名を「記念講演会・一般申込」としてください)

**締切** 4月17日(月)消印有効(先着1,000名)  
※結果は郵送でお知らせします。



- 京阪電中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR「大阪駅」西側高架下発、リーガロイヤルホテル(会場東隣)行のシャトルバス(無料)を利用できます

公益社団法人  
日本書芸院  
TEL(06)6945-4501  
<https://www.nihonshogeiin.or.jp/>



私たちは  
「日本の書道文化」  
のユネスコ無形  
文化遺産登録を  
応援しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により実施内容を変更する場合があります。当院ホームページでご案内いたしますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

# きっと書道が好きになる！ 書道展の対話型鑑賞会

みんなで楽しくお話しをしながら書道の作品をみてみよう！  
「書道の字って読めないし、むずかしそう」こんなみなさんいらっしゃい！

令和5年

**4/30** 日

午後2時より1時間程度 \*開始10分前、現地集合

**グランキューブ大阪** (大阪国際会議場) 3階 「第77回日本書芸院展」会場

**対 象** 小学3年生～中学3年生

令和5年4月30日時点の小学3年生から中学3年生  
保護者同伴をお願いします

**おじいちゃん・おばあちゃんとの参加も大歓迎です。**

**参加費無料**

展覧会も無料です  
往復の交通費はご負担願います

**進行役** 中村伸夫 先生 (なかむら・のぶお)  
書家、筑波大学名誉教授、日本書芸院副理事長

**のぶお先生の作品もあるよ！**

**定員 15 名**

応募者多数のときは抽選になります

## 対話型鑑賞法とは

ニューヨーク近代美術館(MOMA)で開発されたアートの鑑賞法で、考える力や対話する力の向上など、さまざまな効果が高く評価され、世界中の美術館や学校で取り入れられています。専門的な知識を必要とせず、鑑賞者の自由な想像力・観察力でみて、感じて、作品の魅力を知るとともに、対話を通して、自分の考えを深めるだけでなく、多様な見方や考え方があることを知ることができます。

## 中村伸夫(なかむらのぶお)

1955年、福井県に生まれる。小学校～高校時代は野球に熱中。東京教育大学(現筑波大学)に入学し、書道を専門的に研究。大学院時代は二年間、北京に留学し、中国書画史を学ぶ。その後、筑波大学の教員となり、書道の研究と教育に従事。古代漢字を素材とする作品制作と書道史の研究を継続中。

## 第77回日本書芸院展

公益社団法人日本書芸院と読売新聞社が毎年大阪で開催している書道展。広々とした空間に、日本を代表する書家の作品が並びます。

## お申し込み方法

●つぎの必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールでお申し込みください。

①参加する小・中学生の学年・氏名(ふりがな) ②参加する保護者の氏名(ふりがな) ③郵便番号・住所・電話番号 ④応募動機

●しめきり 令和5年3月30日(木) 必着

●宛先 公益社団法人日本書芸院「対話型鑑賞会」係 FAX 06-6945-4505 メール info@nihonshogeiin.or.jp

\*日本書芸院ホームページ「お問い合わせフォーム」、Twitter、InstagramのDM(ダイレクトメッセージ)からもお申し込みいただけます。

●しめきり後、応募者多数の場合は抽選を行い、当選・落選の通知を郵送します。

\*4月10日(月)までに通知が無い場合はお問い合わせください。

\*お問い合わせ 公益社団法人日本書芸院 ☎06-6945-4501(平日9:30-17:00)

「伝統と創意」 第七十七回 日本書芸院展 出品予定者

[illegible]

魁星作家は、役員役職者に限定せず、日本書芸院の50歳以下の全会員を対象に出品希望者を募集し、幹部役員によるオーディションで選ばれた次代を担う新進気鋭の若手作家です。

## 「魁星作家コーナー」出品者

| 科審査会員  |        |
|--------|--------|
| 阿部 泰秀  | 糀 真理子  |
| 伊藤 江星  | 得丸 鵬仙  |
| 上原 寒海  |        |
| 二科審査会員 |        |
| 石渕 江美  | 三宅厚士郎  |
| 稲垣 華扇  | 山本 一 忬 |
| 尾川 明穂  |        |

二科審査会員

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 上原 | 寒海 | 尾川 | 明穂 |
|----|----|----|----|

|    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |
|----|-----|-----|-------|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|
| 澤  | 靜   | 芝田  | 清水    | 清水 | 末吉 | 城市 | 杉村    | 杉本 | 瀨川 | 高千 | 高階 | 高田 | 武田 | 武智 | 多村 | 竹田 | 田中 | 田中 | 谷村 | 田ノ岡 | 玉田 | 田村 |
| 青樹 | 貴子  | 雍子  | 皓風    | 白莎 | 舞岳 | 魁岳 | 玉鳳    | 由美 | 賢一 | 蕪風 | 友子 | 蘭香 | 愛子 | 克彦 | 香城 | 佳秀 | 修文 | 真華 | 朴濤 | 魁秀  | 清婉 | 彰規 |
| 辻川 | 簡溯  | 手島  | 出谷久美子 | 富岡 | 富永 | 友田 | 内藤    | 中岡 | 永田 | 長沼 | 中野 | 永野 | 中原 | 中村 | 中村 | 長屋 | 形川 | 西井 | 西尾 | 西川  | 西川 | 野口 |
| 紅雲 | 杳花  | 桑海  | 美子    | 閑香 | 雪群 | 峰雪 | 孝彦    | 志織 | 一晴 | 龍雲 | 壽照 | 井雲 | 朱穗 | 佳泉 | 素心 | 天虹 | 清光 | 継湖 | 利香 | 華扇  | 翠郎 | 青舟 |
| 菅井 | 林   | 原   | 原     | 檢垣 | 日高 | 平田 | 廣津茂奈美 | 広藤 | 深田 | 福井 | 福本 | 福家 | 藤本 | 藤本 | 古田 | 文能 | 細川 | 堀田 | 本多 | 前田  | 増川 | 松岡 |
| 爽瑤 | 奈緒美 | 美栄子 | 伸子    | 恵舟 | 光彦 | 大紅 | 麗香    | 邦明 | 淳哉 | 美鳳 | 初音 | 鴻月 | 祥扇 | 幽蛙 | 古溝 | 文能 | 太翠 | 泰彦 | 花泉 | 幸子  | 白陽 | 媛風 |
| 松岡 | 松久  | 松山  | 松本    | 松本 | 丸山 | 水川 | 水口    | 水野 | 光枝 | 三宅 | 三宅 | 村瀬 | 村田 | 村田 | 森  | 森  | 柳生 | 安田 | 横山 | 吉田  |    |    |
| 嚮象 | 山麓  | 修子  | 雅至    | 宏信 | 純水 | 桃紀 | 昌紀    | 峯翠 | 旭翠 | 鏡華 | 教之 | 俊彦 | 華泉 | 華泉 | 嶽仙 | 草藍 | 暢春 | 東鶴 | 雪遥 | 翠彩  |    |    |